

臨時議会でもがんばりました 共産党議員団

上越市議会は17日、臨時議会を開催し、平成21年度一般会計補正予算など9議案を審議、いずれも全会一致で可決しました。

このうち、一般会計補正予算は、歳入歳出予算総額に20億5561万円追加。同予算の規模は1160億円6901万円となりました。

今回の補正予算は国の第2次補正予算の成立により交付されることとなった「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を具体化するものです。市では、「できるだけ多くの企業・事業所や市民に効果が及ぶ経済対策となるよう編成した」としています。

具体的には、教育費にかかわるものもつとも多く、大手町小学校の耐震補強工事、直江津中学校のグラウンド改修工事、小・中学校30校の玄関のオートロック化や修繕など学校関係の工事、修繕経費などが計上されました。また、ユートピアくびき希望館の冷温水発生機の取替え、水族博物館の海水取水設備の改修に係る経費などが盛り込まれました。

そのほか、東本町二国道線・下吉団地5号線など市道34路線の道路改良や側溝改良工事、損傷が大きな市道23路線の路面補修費、公営住宅の畳の入れ替えや外壁改修費、高田公園やこどもプールなどの修繕料、クリーンセンター及び汚泥リサイクルパークの各設備、上越斎場及び頸北斎場の火葬炉修繕料なども計上されました。

提出された議案に対する総括質疑はありませんでしたが、各常任委員会の審査では質問が相次ぎ、臨時会は夕方までかかりました。

古文書等保存環境改善へ

総務常任委員会の審査の中で、橋爪議員は、高田城三重櫓の外壁塗装修繕計画の全体計画を提示するよう求めました。この結果、東西南北4面の外壁を、4年間で720万円をかけ修繕することが明らかになりました。また、旧竹直小学校など25か所で分散保存している公文書・古文書等の除湿など保存環境の改善についても質問し、それに対して、改善への一層の努力が約束されました。

五智公園の修繕はまだ

樋口議員は建設企業常任委員会で五智公園の修繕問題で発言。「今回はゴーカート10台と券売機入れ替え経費が計上されたが、白線の引き直しやアスファルトの修繕など多数の修繕が必要だときいている。今後の計画はどうするか」と質問しました。市側は、「たくさんあるので、優先順位を決めて対応していきたい」と答えました。

希望館の空調設備100%に

上野議員は文教経済常任委員会でユートピアくびき希望

3月定例議会日程 (会議開始時間はいずれも午前10時)

日	会議	会議場	備考
3月2日(火)	本会議	本会議場	所信表明・提案理由の説明・総括質疑など
3日(水)	本会議	本会議場	総括質疑
4日(木)	建設企業常任委員会	第1委員会室	樋口議員所属
5日(金)	建設企業常任委員会	第1委員会室	樋口議員所属
8日(月)	文教経済常任委員会	第1委員会室	上野議員所属
9日(火)	文教経済常任委員会	第1委員会室	上野議員所属
10日(水)	厚生常任委員会	第1委員会室	平良木議員所属
11日(木)	厚生常任委員会	第1委員会室	平良木議員所属
12日(金)	総務常任委員会	第1委員会室	橋爪議員所属
15日(月)	総務常任委員会	第1委員会室	橋爪議員所属
16日(火)	常任委員会予備日	第1委員会室	
17日(水)	一般質問	本会議場	
18日(木)	一般質問	本会議場	
19日(金)	一般質問	本会議場	
23日(火)	一般質問	本会議場	
24日(水)	一般質問	本会議場	
26日(金)	本会議	本会議場	付託案件採決

3月議会は2日から

新年度当初予算等を審議する3月議会は、来月2日から26日までと決まりました。日程は上の表のとおりです。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 222 2010年2月28日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
 樋口 良子 544-6802 (中門前3)
 上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
 平良木 哲也 525-9096 (上中田)



高田城三重櫓。17日撮影。



2月8日。中ノ俣にて撮影。

館の冷温水発生機の取替えなどで「利用者からは『夏は暑い、冬は寒い』と苦情が寄せられている。今回の措置で冷暖房は100%整備されるのか」と質問、市側は、「その通りです」と答弁しました。同館の空調施設整備の充実については、上野議員が村会議員時代からとりあげていました。

除雪援助費、要綱の見直しを

厚生委員会で平良木議員は、「要援護世帯のうちで、親族、近隣の住民等の協力により除雪作業を行うことができる」と認められる場合は助成の対象外となっている。しかし、今年の集中豪雪のように親族や近所の協力も期待できないこともある。要綱の見直しをすることを考えはないか」と指摘しました。

これに対して市側は「対象要件を明確にする意味で規定の変更は考えていないが、必要な支援を確実に運ぶことができるよう見直しをする計画である」と答えました。